

特定医療法人 祐愛会織田病院（佐賀県鹿島市）

病床数)一般111床

開放型(病床)病院【登録医50名】 2004年～
DPC対象病院 2006年～
在宅療養支援病院(強化型) 2012年～

診療科)

内科(総合診療部、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、肝臓内科)

外科(一般・消化器外科) 胸部外科・血管外科

脳神経外科 耳鼻咽喉科 皮膚科 形成外科

放射線診断科 麻酔科 リハビリテーション科

看護体制) 7:1

病院職員数) 280名

(常勤医師27名、うち女性医師5名)

平均在院日数) 11.8日(2013年度)

病床稼働率) 94.9% (2013年度)

新規入院患者数) 3,112人(2013年度)

学会認定

認定	日本消化器病学会関連施設
認定	日本消化器内視鏡学会指導施設
認定	日本外科学会専門医制度関連施設
認定	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
認定	日本気管食道科学会認定専門医研修施設
認定	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
認定	日本医学放射線学会専門医修練協力機関
認定	日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設



女性医師が力を発揮できる魅力ある職場づくり

女性 人材

●子育て支援対策

- ・産休・育休制度
- ・託児所設置

●ワークライフバランス

- ・短時間正職員
- ・当直免除
- ・配置転換

●明確な病院のビジョン

- ・地域完結型医療・「治し、支える」時代のブランド病院作り

●働きやすい職場風土

- ・人間関係(医師同士の理解)
- ・施設環境の整備(更衣・休憩室等)

●学べる環境

- ・教育・研修システム構築
- ・各科専門医研修施設取得
- ・専門医取得の奨励(学会参加)
- ・人を育てる人事考課制度
- ・海外研修(米国パリモミM.Cと提携)

●メンタルヘルスケア

病院



YUAIKAI ODA HOSPITAL

女性医師勤務形態とワークライフバランス実績（平成21～25年度実績）

項目	人数
フルタイム・当直あり	6
フルタイム・当直免除	5
短時間正職員・当直免除	3
育児期間延長(1年以上)	0
介護休暇取得者	0
託児所利用者	3(再掲)
女性医師・実合計	14

* 平成21年度から25年度まで14名の女性医師が勤務し、8名が当直免除やワークライフバランスによる勤務形態を活用

医療法人社団東山会 調布東山病院（東京都調布市）

	調布東山病院	桜ヶ丘東山クリニック	喜多見東山クリニック
病床数	一般:83床 透析:66床	透析:40床	透析:34床
診療科	<p>【病院】内科(消化器内科、糖尿病・内分泌科、血液内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、肝臓内科、腎臓内科) 外科(消化器外科、大腸・肛門外科、整形外科、血液外科)リハビリテーション科 放射線科 血液透析 リウマチ科 甲状腺科 皮膚科 泌尿器科</p> <p>【クリニック】血液透析内科</p>		
看護体制	7:1	—	—
常勤職員数	職員数262名 常勤医師20名 (うち女性医師8名)	職員数32名 常勤医師2名 (うち女性医師1名)	職員数20名 常勤医師1名 (うち女性医師1名)
非常勤職員数	89名(うち女性19名)		
外来患者数	316人/日		
入院患者数	69人/日	—	—
2次医療圏	北多摩南部(武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市) 総人口:992,624人(2014.1) 面積:96平方km 人口密度:10359人/平方km ⇒大都市型二次医療圏		

女性医師支援、仕事と家庭の両立支援の取組(1)

①勤務体系の配慮

出産後は病棟フリーとし、主に外来・救急当番・検査・ドック検診を担当

病棟業務は育児との両立を難しくするため、他の医師に理解を求め、受け入れられている

②勤務時間

朝の出勤に際し、8:30の朝礼への出席義務を免除し、基本的に17:00に業務終了。

一般企業における時短(16:00退社)が今後の課題

③法人内保育

保育施設は1984年に開設、病院から徒歩7分

保育時間は7:30～22:30、週に1回24時間保育を実施、医師、看護師区別なく子供を預けて出勤

こどもが小学校低学年へ上がった時期の対応が今後の課題

女性医師支援、仕事と家庭の両立支援の取組(2)

④他職員との関係性への配慮

①～③の対応が不公平感につながりかねない
⇒適正な業務配分が重要

①～③の適応期間中は調整手当を外すなど、適正な給与体系にする等、近日中に対応予定。

また、その対応をオープンにすることも必要

⑤育児中の女性医師の努力を言葉にして伝える

女性医師が日中、一生懸命に働く姿を見せる

そのことを理事長から他の医師に、ことあるごとに伝え、意識付けを行っている。

⑥現場復帰のサポート

育児が終わった女性医師の現場復帰を積極的にサポート

その女性医師の姿が若い子育て中の女性医師の目標となる

継続的に仕事をすることの大切さを伝え、本人・周囲の理解が生まれる